

2021年度 2月分アンケートに対する回答

愛媛県歴史文化博物館

統括責任者 永田 昌也

No.	種類		ご意見・回答
1	新常設展	ご意見	・迫力があった。(50歳代・男性)
		回答	<p>この度は新常設展「密●空と海―内海清美展」をご観覧いただき、誠にありがとうございます。作品のすばらしさを体感いただけたようで、大変ありがたくうれしく思います。本展は、艱難の遣唐使、大唐長安など、空海の活躍を紹介する名場面9章の展示をしております。作品には内子町や四国中央市など四国の伝統的な和紙を用い、音響やLED照明を工夫し作品世界を体感いただける空間を演出しています。</p> <p>ぜひお知り合いの方々にもお伝えいただけると幸いです。またのご来館を心よりお待ちしております。</p>
2	特別展	ご意見	<ul style="list-style-type: none"> ・展示物が多いと良い(30歳代・男性) ・今の言葉で書いてあるので わかりました。今も昔も愛のカタチは、同じですね(70歳代女性) ・県内にも貴重な蔵書が多いこと。むずかしそうで 訳が適切で楽しめた。良かった(70歳代男性) ・百人一首資料 大変興味深く拝見しました。貴重なかるたを揃え、現代作品とのリンクも素晴らしかったです(20歳代・男性) ・あまり古代史にフォーカスを当てた特別展はないので、とてもとても嬉しかったです。愛や恋にも色々あって、それは古代から連続と続くものだと改めて感じました(20歳代・女性)
		回答	<p>この度は、特別展「古代文学と伊予国-愛媛の文学資料展」へお越しいたいただき、誠にありがとうございます。本展では『古今和歌集』などの勅撰和歌集や百人一首の作者の中には、山辺赤人、紀貫之、大江千里、能因法師、西行法師など四国や伊予国(愛媛県)と関係する史実や伝承を持つ人物が多く見られます。そこで古代の伊予国や四国を取り上げた古典籍を一堂に集めて展示することで、伊予国(愛媛県)の歴史・文化の一端を紹介し、豊富で幅広く継承された愛媛県内の古典籍の世界観を皆様に喜んでいただける展示となっております。ぜひ、お知り合いの方々にもお伝えいただき、一人でも多くの方に楽しんでいただければ幸いです。またのお越しを心よりお待ちしております。</p>